

# 数学I 第7回 複素数の極形式

2015年5月27日 担当：佐藤 純

**問題1** 以下の複素数を複素平面上に図示し、極形式で表せ。

(1-1)  $1+i$

(1-3)  $3+\sqrt{3}i$

(1-5)  $-\sqrt{6}-\sqrt{2}i$

(1-2)  $1-\sqrt{3}i$

(1-4)  $-1+i$

(1-6)  $-2i$

**問題2** 以下の複素数を複素平面上に図示し、 $x+iy$  ( $x, y$  は実数) の形に表せ。

(2-1)  $e^{i\frac{\pi}{2}}$

(2-3)  $e^{i\frac{\pi}{3}}$

(2-5)  $e^{-i\frac{\pi}{4}}$

(2-2)  $e^{i\pi}$

(2-4)  $e^{i\frac{5\pi}{6}}$

(2-6)  $e^{-i\frac{\pi}{2}}$

**問題3**  $\alpha = 1 + \sqrt{3}i$ ,  $\beta = 1 + i$  とするとき、以下の値を求めよ。

(3-1)  $\alpha^6$

(3-2)  $\left(\frac{\alpha}{\beta}\right)^{12}$

(3-3)  $\beta^8$

(3-4)  $\left(\frac{\alpha}{\sqrt{2}\beta}\right)^{2014}$

**問題4**  $\alpha = e^{i\pi/3}$ ,  $\beta = e^{i\pi/4}$  とする。 $\alpha/\beta$  を計算することにより、

$\cos \frac{\pi}{12}$  および  $\sin \frac{\pi}{12}$  の値を求めよ。

**問題5** 正の実数  $a, b$  と  $0 < \theta < \pi$  に対し、複素数  $\alpha, \beta$  を  $\alpha = a, \beta = be^{i\theta}$  で定める。

(5-1) 複素数  $\alpha, \beta$  を複素平面内に図示せよ。

(5-2)  $c = |\alpha - \beta|$  とするとき、 $c$  を前問で描いた複素平面内に図示せよ。

(5-3) 余弦定理  $c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos \theta$  を証明せよ。

**問題6**  $a = \frac{\sqrt{3}+1}{2}, b = \frac{\sqrt{3}-1}{2}, z = \frac{a+ib}{a-ib} - \frac{a-ib}{a+ib} + 1$  のとき、 $z^{2014}$  を求めよ。